

令和7年度 横浜市泉区社会福祉協議会 事業方針

令和6年度は多くの地区において、地域行事や活動が再開し、コロナ禍前の賑わいが取り戻されました。区社協においても、地区担当の職員が地域活動へ関わる機会が増えています。7年度も「第4期泉区地域福祉保健計画（泉わくわくプラン）」の基本理念「互いに支え助け合う！誰もが安心して暮らせるまち泉」を実現すべく、住民同士が緩やかにつながり、誰もが役割と生きがいを持つ地域共生社会を目指して取組を進めてまいります。

【重点取組 ※「泉わくわくプラン」推進の柱に沿って記載しています。】

1 健やかに過ごせるまち

○「第5期泉区地域福祉保健計画（泉わくわくプラン）」の策定

7年度は第5期泉区地域福祉保健計画（8年度～12年度）の策定年度となります。各目標の取組状況を振り返るとともに、地区別計画の策定では、泉区役所や区内地域ケアプラザとの「地域支援チーム」と連携を図りながら進めてまいります。

○サポートが必要な方々への理解と支援の推進

障がい児・者の通学通所や通院等、外出機会の移動手段に関する相談調整等を行う「移動情報センター等運営事業」において、ボランティア未経験者にもガイドボランティアに興味を持ってもらうための初心者向け講座を本会ボランティアセンターと合同で実施します。

昨年度、新たにゆめが丘ソラトスを会場に開催した「泉区福祉の作品展」については、より障がい者福祉の理解啓発につながるよう内容の充実を図ります。

○災害対策の充実・強化

発災後に開設する「泉区災害ボランティアセンター」について、一般区民の方にも参加を呼びかけし、より実践的な運営シミュレーション訓練を泉区役所と一緒に行うとともに、機能・役割の周知啓発を図ります。

また、本会の会員組織ネットワークを活かし、区内の社会福祉施設同士が、種別を超えて災害時に助け合えるよう、エリアごとの関係構築を支援します。

2 必要な支援が届くまち

○地区社協活動の支援

区民の方に地区社協や賛助会費の理解を得られるようにチラシのリニューアル等を行います。また、地区社協主催の行事・地域活動をより活発に行えるよう活動資金となる賛助会費の地区社協への還元割合を増やします。

○生活困窮者等への支援

緊急的に食料支援が必要な方に対して、泉区役所生活支援課と連携し、食料品・生活用品の提供を通じて世帯の安定した生活に向けた支援を行います。

○地域貢献事業「泉サポートプロジェクト（通称：サポプロ）」の拡充

新設したホームページや SNS を活用し、登録されている社会福祉施設や地元企業の地域貢献の取組を発信します。また、ICT を活用し、地域活動団体と登録施設・企業とのマッチングを積極的に行い、多くの人との交流の輪が広がる機会を増やします。

3 人と人、活動と活動がつながるまち

○泉区福祉保健活動拠点（泉ふれあいホーム）の運営

7年度は指定管理者選定年度となります。これまでの事業評価結果を踏まえ、福祉保健活動拠点として期待される役割を果たすべく、必要な改善・整備を行い、区民の信頼を得られるよう運営します。

○区民参加を促進する助成金制度の充実に向けた検討

地域活動を継続的に支援している「泉ふれあい助成金」「福祉の泉助成金」配分事業（区内約 140 団体／参加者約 5,500 人）について、要件等を整理し、より公平でわかりやすい制度とするための検討を進めます。

○福祉教育のさらなる推進

区内小・中学校等における福祉教育を障害当事者団体や施設、地域ケアプラザと協力しながら進めます。また、夏休み期間に行う小・中・高校生向け福祉体験学習「いずみサマースクール」について、区内の高等学校へ積極的に周知を行い、比較的応募の少ない高校生の参加促進に取り組みます。

ボランティアの相談調整を行うボランティアセンターにおいては、若い世代が地元への愛着を感じられるよう、地域性を生かした活動につなげます。

○寄付文化の醸成・社協事業への理解促進

本会は赤い羽根共同募金や賛助会費を主な財源として、地域支援に取り組んでいます。募金額は年々減少傾向にあるため、これまでの地域支援を継続していくには新たな寄付の形も提案していくことが必要です。ホームページ等を活用し、寄付に関する相談の受付や遺贈について情報発信できるよう整備を進めます。

■事業計画

この事業計画は、前述の事業方針と重点取組に基づいて、「第4期泉区地域福祉保健計画（泉わくわくプラン）」推進の柱及び重点項目、行動計画に連動させ策定しています。

また、主な事業の予算額（令和7年度予算額〔令和6年度予算額〕）を表示しています。

取組にあたっては、本会の強みである会員組織としてのネットワークを活かし、関係団体・機関の連携を促進します。

1 健やかに過ごせるまち

重点項目1-1 自分らしく生きるための支援を進める

《行動計画：個人の権利と尊厳を守るための仕組みづくり》

（1）権利擁護事業（あんしんセンター）

（市社協受託金）（利用料収入）317千円〔318千円〕

高齢者や障がい者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう相談・契約によるサービスを行います。契約者に判断能力の低下が生じた場合は、成年後見人に速やかに移行できるよう区や地域包括支援センター、基幹相談支援センター等と協力し、泉区成年後見サポートネットや社会福祉士連絡会の場等を活用して連携を図ります。

また、市民後見サポートネットを開催し、横浜市市民後見人バンク登録者（泉区登録者）との連携を進めます。

	R 4実績	R 5実績	R 6見込	R 7見込
権利擁護事業 契約件数（件）	51	51	50	53
*当年度 新規契約件数（件）	21	7	7	10
*権利擁護から成年後見への移行（件）	2	2	1	3
*成年後見に関する相談件数（件）	10	9	6	10

*評価指標 権利擁護事業 新規契約件数：増加
権利擁護事業から成年後見への移行：増加
成年後見に関する相談件数：継続

《行動計画：サポートが必要な方々の理解と支援の推進》

（2）移動情報センター事業

（市社協受託金）（市補助金）10,421千円〔10,967千円〕

障がい児者の通学・通所や通院、余暇活動等外出機会の移動手段に関する情報収集・発信、相談調整、人材発掘・育成を行います。また、事業を通じて把握した障がい児者の困りごとを関係機関や地域住民と共有し、障がい児者やその家族が安心して

暮らせる地域づくりを進めます。

【取組事項】

① 移動に関する相談窓口の運営

移動に関する相談を受け付け、必要に応じて移動支援情報の提供または福祉サービスの紹介、調整等を行います。また、適切な支援が行われるよう区役所や基幹相談支援センター等の相談支援機関につなげるとともに、相談受付対象者へのフォローアップに努めます。

② 移動支援情報の収集及び更新

障がい福祉サービス事業所や学校等へ、調整が難航しているケースについてヒアリングを行い、関係者との情報共有・連携を図ります。また、顔の見える関係づくりを行い、把握した課題やニーズを整理し、他区移動情報センターや関係機関と共有・連携していきます。

③ 移動支援に関わる担い手の発掘・育成に向けた取組

ア 担い手の拡充を目的に講座を開催するため、ボランティアセンター他、関係機関との連携をさらに図っていきます。

イ 安全に支援できるよう、活動への同行、モニタリングの実施、初回相談の同行を行います。

ウ 車イスを使った支援や、視覚障害のある方へのガイドをテーマにガイドボランティア講座を開催します。

④ 推進会議の開催

⑤ 事業の周知

ア ボランティアセンターかわら版での移動情報センター事業の周知等を行います。

イ 自治会町内会、地区社協等関係団体、学校関係へのPR活動の推進を行います。

⑥ 区間連携及び関係機関との連携

⑦ 横浜市ガイドボランティア事業における事務取扱団体の業務遂行

	R 4 実績	R 5 実績	R 6 見込	R 7 見込
*ガイドボランティア登録者数(人)	39	40	30	40

*評価指標 ガイドボランティア登録者数：増加

(3) サポートが必要な方々への理解促進

(共同募金) 162千円 [171千円]

【取組事項】

① 「障害者週間※」の取組の一環として、区内の障がい事業所・団体、学校個別支援級等の活動を通じて、障がい児者への理解啓発を図るために、「泉区福祉の作品展」を昨年度に引き続き「ゆめが丘ソラトス」を会場に開催します。

② 学校・企業・地域住民等を対象に、区内障害福祉施設の利用者やその家族、職員と協力し、当事者理解等の福祉教育(啓発)を実施します。

※障害者週間：障がいのある方の社会参加を進めるため、毎年12月3日から9日は「障害者週間」と定められており、全国で障がい理解のための普及啓発の取組が行われています。

	R 4実績	R 5実績	R 6見込	R 7見込
*ガイドボランティア講座実施回数	1	1	2	2
*同 参加者数（人）	18	15	18	20

*評価指標 障がい理解・担い手育成のためのボランティア講座（出前講座含む）の実施回数・参加者数：増加

重点項目 1－2 元気でいるための支援を充実させる

《行動計画：介護予防・健康づくりの推進》

（４）高齢者の健康増進の取組支援

【取組事項】

- ① 地域で行われる高齢者食事会、サロン等を実施する団体への継続的な支援と新規グループの立ち上げを支援します。
- ② 泉ふれあい助成金（健康増進区分）を通じて、ボランティアグループ等が実施する健康づくり・介護予防活動を支援します。
- ③ 横浜市が展開している地域活動や地域サービスの検索サイト「ふくしらべ」や「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」を通じて、区内の活動情報を発信します。

	R 4実績	R 5実績	R 6見込	R 7見込
*泉ふれあい助成金（健康増進区分）活動団体数	14	11	13	15

*評価指標 ふれあい助成金（健康増進区分）による活動団体数：増加

重点項目 1－3 地域の安全をみんなで考える

《行動計画：安心・安全に暮らせる環境の整備と推進》

（５）災害対策の充実・強化

（市社協補助金）30 千円 [80 千円]

発災時に備えて、平時から互いに支え合える地域づくりを進められるよう、情報提供や啓発に努めます。また、災害ボランティアセンターを設置した際に円滑に運営できるよう、区役所と連携を図るとともに、本会の会員組織ネットワークを活かした体制づくりを進めます。

【取組事項】

- ① 横浜市社協・18区社協の「災害情報共有システム」を活用した、機能的な災害ボランティアセンター運営体制を構築します。
- ② 各種災害に対する義援金募集活動の情報発信・相談受付を行います。
- ③ 災害ボランティアセンター設置運営シミュレーション訓練（兼研修会）を開催します。

- ④ 本会会員の区内社会福祉施設が種別を超えて災害時に助け合えるよう、エリアごとの関係構築を支援します。

2 必要な支援が届くまち

重点項目2-1 相談しやすい仕組みを整える

《行動計画：制度の周知と相談対応の推進》

(1) 相談窓口の設置

区社協では、事業ごとに相談窓口を設置しています。それぞれの役割・機能を活かし、地域の様々な相談を受け止めます。相談内容によっては、区社協内の相談窓口の担当者同士が連携し、他の専門機関につなぐ等一体的な対応をします。

継続的なかわりが必要な場合は、相談者にとって身近な地域の多様な主体とも連携し、新たな生活課題への対応を含め「地域共生社会」の実現を目指します。

また、ホームページやリーフレット、掲示板等で相談窓口についての情報提供を行います。

【本会の相談窓口】

- ・ 泉区ボランティアセンター
- ・ 泉区社協あんしんセンター
- ・ 泉区移動情報センター
- ・ 生活福祉資金貸付相談（生活困窮者への食料支援相談含）
- ・ 善意銀行寄付相談
- ・ 泉区福祉保健活動拠点利用相談
- ・ その他 地域福祉活動全般に関する相談

(2) 生活困窮者自立支援施策への対応

(県社協受託金) 4,375 千円 [4,366 千円]

生活困窮者自立支援法において、生活福祉資金貸付事業や総合相談、区生活支援課との連携を通して支援に取り組みます。また、新型コロナウイルス感染症等の影響等により生活に困窮した世帯への償還に向けた指導等、借受世帯への全般的な相談に対し、区役所等関係機関や民生委員・児童委員と連携しながら支援していきます。

【取組事項】

① 生活福祉資金貸付事業相談

貸付の種類：総合支援資金、臨時特例つなぎ資金、緊急小口資金、福祉資金（教育支援資金等）、不動産担保型生活資金、その他

ア 教育支援資金等の概要や相談傾向を、泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会において共有し、個別の課題を通じて支援方を検討します。

イ 特例貸付借受世帯へ生活再建及び償還に関する支援を行います。

② 生活困窮者への食料支援

緊急的に食料支援が必要な方に対して、区役所生活支援課と連携し、(株)セブン-イレブン・ジャパンやフードバンクかながわ等から提供された食料品・生活用品を活用し、世帯の安定した生活に向けた支援を行います。

重点項目 2-2 困りごとを支援につなぐことができる人を増やす

《行動計画：支援者のスキルアップ・対応力向上》

(3) 地区社協活動の支援

(市社協補助金) (賛助会費) (共同募金) 6,586千円 [5,694千円]

身近な地域のつながり・支えあい推進事業を進めながら、地域支援方針や地区社協のてびきに基づき、地区社協の目的である「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を推進できるよう支援します。引き続き、地区社協が交流や通いの場づくりを継続的に進められるよう、活動の資金となる賛助会費の確保や、担い手拡充の工夫についての検討など、支援に取り組みます。

また、地区担当職員を置き、それぞれの地区社協の運営や事業の実施等を支援します。

【取組事項】

① 地区社協分科会の定例開催 (年4回)

市域・区内の情報提供や情報共有、課題検討等を行います。

② 区域の地区社協研修会の開催

③ 地区の研修開催支援

④ 地域アセスメント、地区診断、地区社協状況書の作成

⑤ 「泉わくわくプラン」地区別計画に連動した地区社協活動の推進

⑥ 地区社協や賛助会費への理解推進

区社協広報紙で地区社協の活動紹介を行う他、賛助会費チラシを改訂します。

⑦ 地区社協の広報活動支援

⑧ 地区社協活動費の交付

(4) 民生委員・児童委員との連携

地域における身近な相談役である民生委員・児童委員、主任児童委員とともに、地域の課題解決に向けた取組を進めます。民生委員児童委員分科会の開催や、地区民児協定例会への参加により、地域福祉推進のパートナーとしての連携を深めます。

重点項目 2-3 一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える

《行動計画：地域課題の抽出と課題解決に向けた取組の検討》

(5) 身近な地域のつながり・支えあい推進事業

様々な生活課題を抱えている地域住民に寄り添い、地域活動者・福祉保健関係者や多様な主体とより連携し、つながりや支えあいづくりを推進します。

【取組事項】

- ① 地区社協のてびき研修の内容を地域住民や関係機関と共に理解を深め、一人ひとりの困りごとを地域で受け止めながら解決を目指せる地域づくりを推進
- ② 住民同士の助け合い活動団体の立ち上げ支援の推進
- ③ 団体同士の連携や、担い手の育成による地域での見守り体制の構築
- ④ 区・包括カンファレンス等へ参画し、個別・地域課題の継続的な把握を行うとともに、課題を抱えた住民と地域とのつながりづくりを推進
- ⑤ 子ども支援団体等と連携し、課題の共有や解決に向けた取組の推進及び個々の課題を持つ子ども・若者への地域理解の推進

(6) 生活支援体制整備事業

(市社協受託金) 200 千円 [200 千円]

高齢者の生活支援・介護予防の充実のため、区役所や地域ケアプラザ、地区社協、自治会町内会、ボランティア団体、施設、企業など多様な主体との連携により、担い手の発掘・育成により新たな活動を創出します。また、地域包括ケアシステム構築に向けて「泉区アクションプラン」とも一体的に推進していきます。

【取組事項】

- ① 区役所と協働で区レベル協議体（支えあいの仕組みづくりを進める会議）を開催します。また、各地域ケアプラザの協議体の開催を支援します。
- ② 第2層生活支援コーディネーター連絡会を開催し、研修を取り入れながら各エリアの状況把握を行うとともに、区域の課題について検討します。
- ③ 横浜市が展開している地域活動や地域サービスの検索サイト「ふくしらべ」や「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」を通じて、区内の活動情報を発信します。

【再掲】

- ④ 地域に密着したニーズを把握し、必要なインフォーマルサービスの創出と活用を推進します。

(7) 「泉サポートプロジェクト」の推進

(県社協助成金) (賛助会費) 350 千円 [200 千円]

福祉施設や企業、団体が連携し、地域貢献の一環として地域ニーズに対応する取組を推進します。神奈川県社協「地域ネットワーク強化事業助成金」を活用し、区域及び各エリア別の取組を集約し、課題解決に向けた検討を進めます。

新設したホームページや SNS を通じて、区民に向けて情報発信するとともに、ICT を活用して地域活動団体と登録団体とのマッチングを積極的に行います。

【取組事項】

- ① 施設や企業、地域住民に対する取組の啓発
- ② 地域における困りごと等ニーズの発掘
- ③ 地域ニーズに対応するための登録団体の拡充
- ④ 専門領域の関係団体との連携
- ⑤ エリア別の取組の推進に向けた支援

⑥ 全体会の開催

登録団体同士の関係構築と互いの実践内容を共有するため情報交換等を行います。

⑦ 登録団体有志による検討会の開催



ささえあうきもちが
ポジティブな未来に
プロジェクトでつながる
ローカルなきずな

	R 4 実績	R 5 実績	R 6 見込	R 7 見込
* 泉サポートプロジェクト参画施設・企業等 登録団体数	45	56	64	70

* 評価指標 泉サポートプロジェクト参画施設・企業による活動数：増加

3 人と人、活動と活動がつながるまち

重点項目 3-1 参加する人を増やす

《行動計画：地域活動に参加するきっかけ作り》

(1) 地域情報や活動に関する情報発信

【取組事項】

① 「区社協だより泉」の発行（年2回）

（賛助会費）（共同募金）（区指定管理料）1,200 千円 [1,800 千円]

地域住民が自分たちの暮らすまちに関心を持つきっかけとなるよう、地区社協やボランティア団体の活動、区社協の事業等の情報を発信します。また、障害者の社会参加を促進するため、広報紙の配付業務を障害福祉サービス事業所へ委託します。

② 「ボランティアセンター通信かわら版」の発行（年2回）

ボランティア講座やボランティア募集の案内、ボランティア団体の活動等を掲載し、区内のボランティア活動の活性化につなげます。

③ 区社協ホームページでの情報発信

（指定管理料）（賛助会費）（共同募金）343 千円 [339 千円]

④ 区社協リーフレットの改訂

（賛助会費）（共同募金）143 千円 [0 千円]

区社協事業をより効果的に伝えられるよう、区社協リーフレットのデザインを一新し、全面的に改訂します。

⑤ 移動情報センター通信の発行（年1回）

⑥ 泉区民ふれあいまつりへの参加

区社協事業等について、区民への啓発活動を行います。

(2) 第39回泉区社会福祉大会の開催

(共同募金) 441千円 [493千円]

福祉活動功労者に対する顕彰及び「泉わくわくプラン」の周知をはじめとした区民への福祉啓発事業を実施します。

(3) 善意銀行

区民の皆様からのお預かりした寄付金や物品を区内の施設・ボランティア団体のニーズに基づき効果的に配分します。寄付を受けた食料品等については、緊急的に食料支援が必要な方への支援に活用します。

また、ホームページ等を活用し、寄付に関する相談の受付や遺贈について情報発信できるように整備を進めます。こうした取組を通じて、寄付文化を醸成します。

重点項目3-2 担い手を増やす

《行動計画：活動を継続していくための支援、新たな担い手の発掘・育成》

(4) ボランティアセンターの運営

(区指定管理料) 904千円 [904千円]

ボランティアや地域住民の活動に関する様々な相談に応じ、地域福祉活動を担う人材確保・育成のため、テーマ別・対象別等のボランティア講座を移動情報センター等の他事業や他機関と連携して実施します。また、活動の継続のために登録ボランティアの状況を把握し、一人ひとりに合わせたフォローアップを行います。

将来の担い手となる学生が地域や福祉について知り、考え、主体的に地域活動に参加できる機会づくりに積極的に取り組みます。

障がいがある方への社会参加についても、関係機関と連携し支援していきます。

地域ニーズの把握や情報共有は、ボランティアセンター担当職員と地区担当職員が連携しながら取り組みます。

【取組事項】

- ① ボランティア講座の開催及び活動支援
 - ア ボランティア入門講座を開催します。
 - イ 学生がボランティア活動に参加しやすいよう支援します。
 - ウ 住民同士の助け合い活動を支援します。
 - エ ガイドボランティア講座を開催します。【再掲】
 - オ 施設や団体等のボランティア受入れにかかわる方を支援します。
 - カ ボランティア情報の定期的な発信、ボランティア登録者へのアプローチ
- ② ボランティア相談・コーディネートの実施
 - ア ボランティア相談や登録の受付、活動先の紹介を行います。
 - イ ボランティア保険の受付業務を行います。
- ③ 「人財バンク」の情報更新（区民活動支援センターとの協働事業）

	R 4実績	R 5実績	R 6見込	R 7見込
*ボランティア講座実施回数（回）	9	10	6	9
*同 参加者数（人）	38	32	34	35

*評価指標 各種ボランティア講座の実施回数・参加者数：増加

（５）ボランティア団体の支援

（賛助会費）150 千円 [100 千円]

ボランティア団体の活動継続のため、団体間の交流や連携を支援します。また、各種情報提供を行います。

【取組事項】

- ① 泉区ボランティアネットワークの運営・活動支援
 - ア 泉区ボランティアネットワーク運営委員会の定例開催支援
 - イ 泉区ボランティアネットワーク各部会（分野別）の開催支援
 - ウ 「泉区ボランティアフォーラム」の開催支援
 - エ 泉区ボランティアネットワークの活動を支援するため、助成金交付
- ② 泉ふれあい助成金・福祉の泉助成金の案内、他の民間助成金等に関する情報提供

（６）泉区福祉保健活動拠点「泉ふれあいホーム」の運営

（区指定管理料・利用料収入等）18,463 千円 [18,096 千円]

世代や障がいの有無に関わらず、市民の自主的な福祉保健活動に「活動の場」を提供することにより、福祉活動の推進を図ります。また、利用団体相互の交流や情報の提供を積極的に行い、単なる活動の場の提供にとどまらない「福祉活動の裾野を広げる」ことを目的とした福祉保健活動拠点の運営に努めます。

[指定管理期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日]

	R 4実績	R 5実績	R 6見込	R 7見込
登録団体件数（件）	219	208	209	215
利用実績（延べ件数）	2,244	2,091	2,096	2,250

【取組事項】

- ① 窓口や電話での相談、利用登録団体懇談会、利用者アンケートの実施などを通じて、利用者のニーズの把握に努め、拠点やボランティアセンターの運営に反映
- ② ホームページによる福祉保健活動拠点の情報提供
- ③ ボランティア講座や研修会を実施し、人材発掘を推進【再掲】
- ④ 福祉保健団体の活動を支援するため、指定管理者に応募

(7) 泉ふれあい助成金・福祉の泉助成金

(市社協補助金・共同募金・善意銀行等) 13,067 千円 [12,795 千円]

身近な地域の支えあい活動や障がい当事者活動、住民主体の活動を推進するため「泉ふれあい助成金」及び「福祉の泉助成金」を通じた活動支援を行います。また、申請団体の活動状況を把握し、継続的な活動を支援するとともに、助成金の新規活用を促進します。

	R 4 実績	R 5 実績	R 6 見込	R 7 見込
助成団体数 (件)	135	138	137	140
*参加者数 (人)	52,551	55,000	57,131	57,000
*要援護者支援区分と障がい児者支援区分での申請団体数 (件)	64	83	86	85
*上記担い手数 (人)	709	750	802	800

*評価指標 ふれあい助成金交付事業の参加者数：増加 (重点項目 3-1)
ふれあい助成金交付事業の交付団体数・担い手数：継続

重点項目 3-3 つながる機会を作る

《行動計画：様々な人との交流の推進》

(8) 地域における交流の機会促進

(共同募金) 48千円 [48千円]

泉区にはボランティア団体や福祉施設が数多くあり、活発に活動しています。これらの活動をきっかけに、地域交流の促進を目指します。

【取組事項】

- ① 泉ふれあいシールラリーの共催 (共催：区、泉区障害福祉自立支援協議会)
障がいのある人たちの活動場所に地域住民が足を運ぶきっかけとし、関係機関・団体と連携しながら、障がいの理解へつなげます。
- ② 小・中学生を対象とした「泉わくわく応援隊」の活動先を紹介します。

(9) 福祉教育の推進

(賛助会費) (市社協補助金) 257 千円 [278 千円]

地区担当職員や地域の関係機関・団体と連携し、様々な対象に向けた福祉教育 (啓発) を行い、社会福祉への理解を促進します。区内の学校等に向け、福祉の授業実施のPRを行い、学びが深まる授業を共に検討していきます。

夏休み期間には、子どもの体験を通じた学びの機会が広がるよう「いずみサマースクール」を実施し、協力施設の拡充やプログラム内容の充実を図ります。また、これまで比較的応募が少なかった高校生に対し、区内の高等学校へ積極的に働きかけを行い、参加促進に取り組みます。

また、「泉わくわく応援隊」の取組に協力します。

【取組事項】

- ① 学校・企業・地域住民等を対象に、当事者理解等の福祉教育（啓発）を実施【再掲】
- ② 小中高校生対象の福祉体験学習「いずみサマースクール2025」の実施
- ③ 学校長会での情報提供、福祉教育担当教諭の社会福祉への理解の促進等、学校との連携強化

	R 4 実績	R 5 実績	R 6 見込	R 7 見込
*福祉教育実施件数（件）	20	25	18	20
* 同 参加者数（人）	1,385	1,400	1,039	1,100
*サマースクール実施件数（件）	32	33	28	30
* 同 参加者数（人）	103*	80	81	90

※R 4年度は「ボランティアスクール」として夏・秋の2回開催

*評価指標 福祉教育の実施件数・参加者数：増加
サマースクール実施件数・参加者数：増加

《行動計画：関係機関同士の連携強化》

(10) 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーターの支援

(市社協補助金) (共同募金) 82 千円 [82 千円]

地域住民の福祉活動を支援する地域活動交流コーディネーターを支援するため、定例の連絡会を開催し、情報交換や研修会、勉強会等を行います。

(11) 泉区障害福祉自立支援協議会との連携

「泉区福祉の作品展」や「泉ふれあいシールラリー」を実施するにあたり、泉区障害福祉自立支援協議会の日中部会等と連携して行います。

(12) 子育て・子ども若者支援団体の取組支援

(共同募金) 13 千円 [99 千円]

子どもの健やかな育ちの支援として、子育て中の孤立感の解消などを目的に地域における子どもの居場所づくりや子育てを応援します。

【取組事項】

- ① 子育てネットワークへの協力
地域ケアプラザエリアの子育てネットワークの取組に協力します。
- ② 関係機関との連携による子ども・若者支援
泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会、子ども支援団体等と連携し、課題の共有や解決に向けた取組の推進および個々の課題をもつ子ども・若者支援の

地域理解の推進を行います。

4 社会福祉協議会活動・法人運営

(1) 「泉区地域福祉保健計画（泉わくわくプラン）」の推進・策定

区役所との共同事務局により、第4期計画を推進するとともに、令和8年度から12年度までの第5期計画の策定を進めます。また、子どもの頃から身近な地域に関心を持つきっかけ作りとして、小・中学生を対象とした「泉わくわく応援隊」の活動を推進し、地域活動の活性化、新たな担い手の発掘につなげます。

また、地区別計画の策定では泉区役所や区内地域ケアプラザとの「地域支援チーム」と連携を図りながら進めます。

(2) 公益性の高い社会福祉法人としての適切な組織運営

- ① 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催
- ② 各種部会、分科会の開催
- ③ 助成金配分審査委員会の開催
- ④ 計画的で透明性の高い業務執行、法律や規程に基づいた適切な事務・経理処理
- ⑤ 正会員及び賛助会員の募集と会費の有効活用
- ⑥ BCP（災害時の業務継続計画）の適宜見直し

(3) たすけあい福祉資金給付

火災・風水害等を受けた罹災世帯に見舞金を交付します。

(4) 行旅病人への支援

行き倒れや行き場のない方への緊急措置として一時金を支給します。

(5) 訪問理美容サービス事業

在宅の要介護者・身体障害者等に対して理美容師による出張サービスの受付と紹介をします。

(6) 団体の事務局

地域で活動する各種団体の事務局を担い、活動を支援します。また、各団体の活動を広報し、理解啓発に努めます。

【各団体の活動内容】

- ① 神奈川県共同募金会横浜市泉区支会

赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金運動を実施し、区内および県内の福祉施設や障害者団体、ボランティア団体等の活動支援を行います。

② 日本赤十字社神奈川県支部泉区地区委員会

日本赤十字会員増強運動、災害救護事業・災害救護に関する活動の推進、災害義援金・救援金の受付、地域福祉活動への助成を行います。

③ 泉保護司会

保護司活動に関わる事務手続きや関係機関への調整等のサポート、犯罪予防活動や処遇活動の推進、各協力組織との連携や社会貢献活動への支援を行います。

④ 泉区更生保護女性会

保護司と協力して「社会を明るくする運動」の推進、赤い羽根共同募金の街頭募金への参加、研修会の開催、子育て支援などを行っています。

⑤ 泉区更生保護協会

更生保護活動の周知・啓発や「社会を明るくする運動」を推進するための事業を行います。